

明治大学平和教育登戸研究所資料館
開館 5 周年記念講演会

紙と戦争

— 秘密戦兵器研究における

紙と製紙会社の果たした役割 —

2015

3/21日 (土・祝)

13:00-15:30

入場
無料

12:30 開場 /13:00-14:30 小林良生氏講演会～「紙と戦争—
登戸研究所と風船爆弾・偽札—」展によせて～秘密戦兵器研
究における紙と製紙会社の果たした役割 / 休憩 15 分
/14:45-15:30 小林良生氏 × 山田朗館長対談「登戸研究所と紙」

予約不要・当日先着順 (定員 126 名)

明治大学生田キャンパス第二校舎 A 館 4 階特殊プレゼンホール
(A416-A417) アクセス・小田急線生田駅南口徒歩 15 分, 向ヶ丘遊園駅北口より小田急バス「明大正門前」行終点下車



— 講師紹介 —

風船爆弾、偽造法幣の研究開発・生産は和紙生産者と製紙会社の協力を得て完成しました。これらの組織が風船爆弾・偽造法幣の研究課題にどう関わったのかを、和紙関係業者および製紙会社とともに機能紙研究を行ってきた小林氏が、紙の機能の視点から解明し、戦後この技術がどのように展開していったかを展望します。

講師 小林 良生 氏

1958 年慶応大学工学部卒。東レ株式会社を経て、1975 年化学繊維・合成繊維から紙を作る研究のため、旧・通商産業省工業技術院四国研究所 (現・産業技術総合研究所四国センター) 化繊研究室長に就任 (後に同研究所技術交流センター長就任)。全国の県立製紙試験場長や製紙会社と研究を行う。機能紙研究会 (当初は化繊紙研究会) を運営。退官後の 1997 年から 2001 年まで国際協力事業団 (JICA) のプロジェクトチームリーダーとしてタイに赴任。タイ・カセサート大学のタイ未利用農林植物研究計画の中で、楮のアグロフォレストリーの栽培方式を共同研究した。1974 年ナイロン原料の合成の研究で工学博士号取得 (慶應大学)。1990 年生物学的な観点から和紙をつくる研究 (バイオパルピング法) で農学博士号取得 (京都大学)。1990 年科学技術庁長官賞, 1993 年第 3 回日本・紙アカデミー賞, 2004 年瑞宝双光章, 2011 年機能紙研究会功労賞を受賞。

問い合わせ先 /
明治大学平和教育登戸研究所資料館
TEL&FAX044-934-7993
Email noborito@mics.meiji.ac.jp
http://www.meiji.ac.jp/noborito/